

ネパール ギャラクシー高校と交流

12月19日（水）スカイプを利用してネパールのギャラクシー高校の生徒と交流をしました。最初の自己紹介から互いに拍手や笑い、感嘆の声の連続で和やかな雰囲気の中、時間が過ぎていきました。会話は英語を中心に言い、ネパール語と日本語のやりとりはネパール人留学生のダルマさんに通訳していただきながら楽しく情報交換を行うことができました。

H30.12.20 神戸新聞

文化や防災 高校生議論

ネパールの生徒と 神戸・北須磨高

神戸市須磨区友が丘9の北須磨高校で19日、ネパールの私立学校「ギャラクシー校」の生徒と、互いの国の文化や防災について話し合うインターネット会議があった。

国連教育科学文化機関（ユネスコ）が認証する活動の一環で、神戸で学ぶネパール人留学生ダルマ・ラス・パッティさん（28）が仲介した。

ギャラクシー校は首都カトマンズにあり、3年前のネパール地震で大きな被害を受けた。カトマン

パッティさん（右）とともにネパールの生徒とスカイプで交流する北須磨高生ら＝神戸市須磨区友が丘9

ズには今も、壊れた道などがそのまま残っているという。この日は、北須磨高の1、



2年生9人とギャラクシー校の14、15歳の生徒ら約10人が交流。「ヒンドゥー教徒の多いネパールではクリスマスはあまり祝わない」「神戸には海も山もある」と両国のことを紹介したほか、ネパールの生徒は「地震の際どうやって水を確保したのか」などと質問した。北須磨高2年の石川晶章さん（17）は「今後も情報交換をし、自分ができることを考えていきたい」と話した。

（広畑千春）